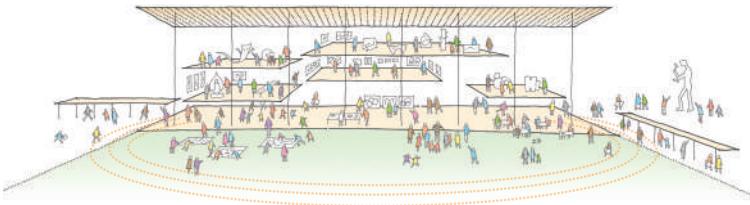


空間と運営を一体的に捉えた取組み体制により、20年の事業期間を活かし『とっとりの未来をつくる』美術館の実現

- 県民が主役のアート活動拠点として、みんなでつくる「とっとりアートプレイス」～みらいをつくる美術館を目指して～



● アートとの多彩な出会いがある空間

- » とっとりしさに包まれた居心地の良い美術館
- » 立体回遊による多様な空間体験が創造性を喚起
- » 歴史性・地域性を創造的に継承した姿



大御堂廃寺跡から見た美術館 人々の活動が主役となって美術館の姿を創り上げる

● 共に・集まり・つくるを誘発する運営

- » 県と民間の協働による鳥取発の運営モデル
- » 館内の様々な場所でアートに触れるかけ
- » 地域の持続的成長につながる美術館活動の展開

● 各分野で実績豊富な企業と県内有力企業によるチームで、永く親しまれる美術館を“共につくる”



● 『とっとりの未来をつくる』美術館

- » ひとをつくり、育てる → ひとをつなぐ
心地よさ・交流・未来への人材の育成
- » まちをつくり、育てる → まちをつなぐ
倉吉のまちづくり・美術館連携の拠点
- » 文化をつくり、育てる → 文化をつなぐ
自然、歴史、文化の継承と創造・発信



白壁土蔵群



大屋根とエントリープラザが大らかに人々を迎える



創作テラスから「ひろま」へと活動がつながる

⇒大屋根の下に様々な体験が立体的に展開する『ひろま』

とっとりから世界へ



今からみらいへ

2020 → 2022 → 2025 → 2028 → 2040

事業契約締結

着工

竣工

開館

3周年

15年度目

設計ワークショップ

建設中の市民見学会

創作ワークショップ

屋外パフォーマンス

ポップカルチャー展

アートフェスティバル

「県内のあらゆる場所で
アートが花開く、創造性と
活力に満ちた鳥取県」

居心地の良い『ひろま』を中心とした多様な体験

出会いと発見をもたらす豊かな回遊性

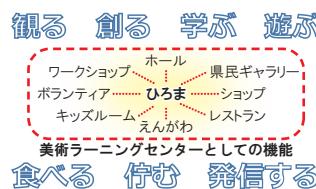
●多様な『体験の舞台』と立体的回遊性



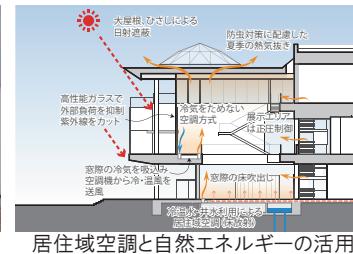
多様な視線の交錯によって生み出される創造性のあふれる『ひろま』の雰囲気

●諸室と連携して多様な活用が可能な『ひろま』 美術ラーニングセンターとして機能する

» 地域に根差したコミュニティと文化を創造・発信する拠点となります

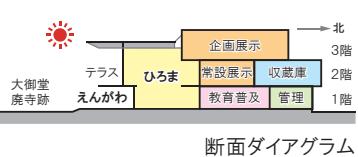
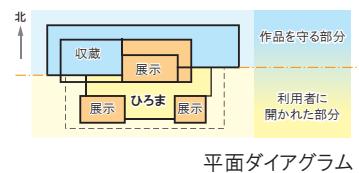


●快適な心地の良い『ひろま』の実現



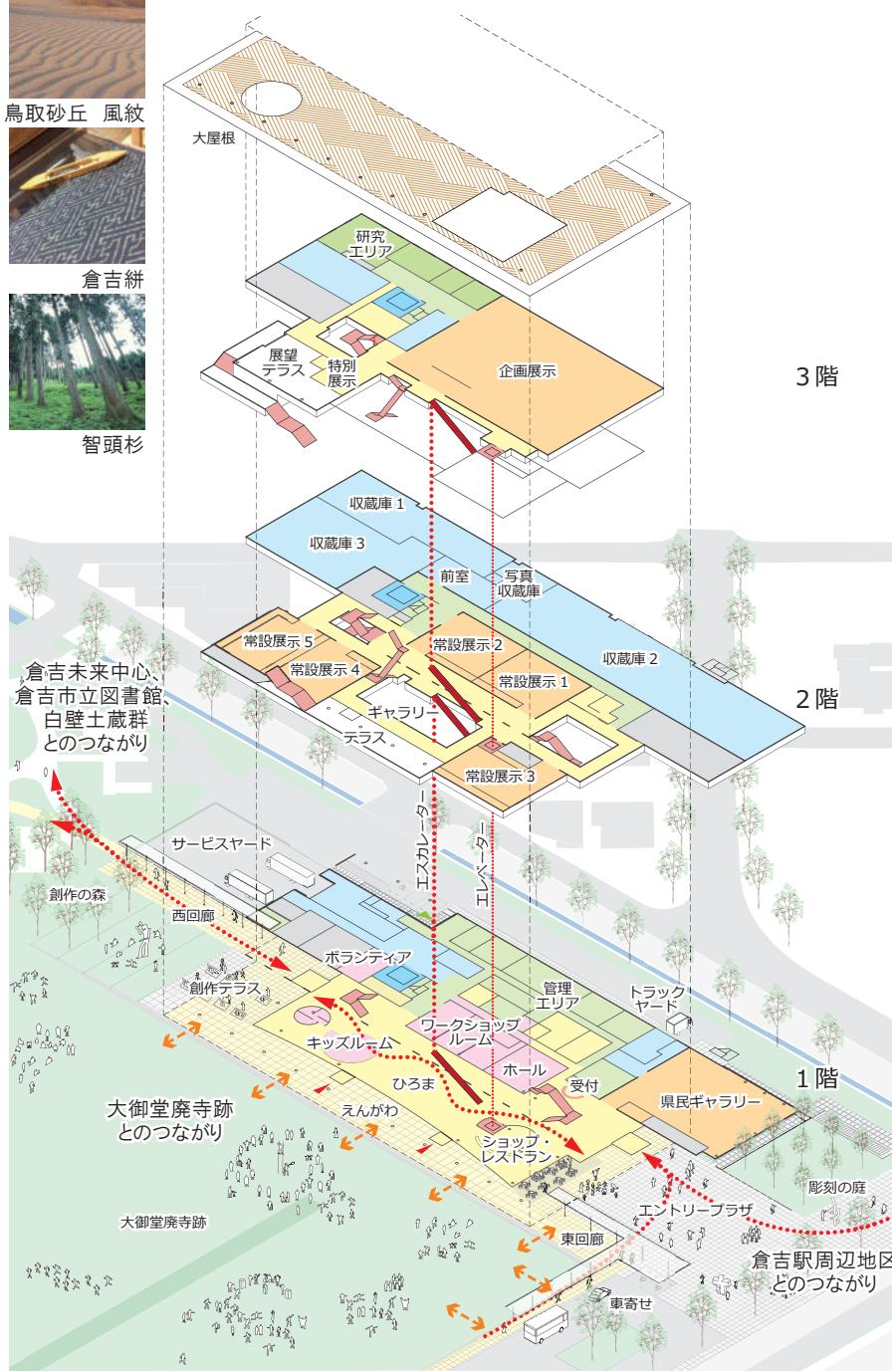
居住域空調と自然エネルギーの活用

●明快な平面、断面による機能性とわかりやすさ



平面ダイアグラム

断面ダイアグラム



大御堂廃寺跡を一望できる展望テラス



魅力的な展示でにぎわう企画展示室



創作テラスとつながるキッズルーム

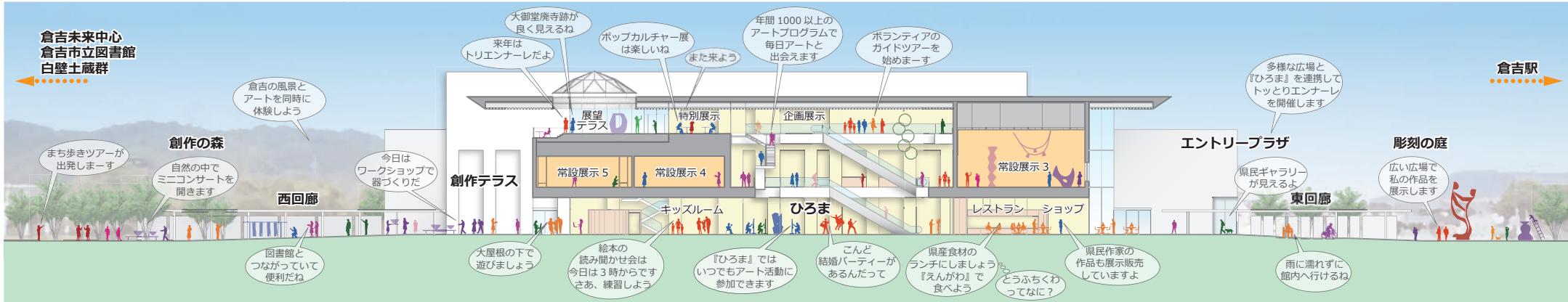


広く明るいエントランスロビー



大御堂廃寺跡と連携した催しのイメージ

“アートピアとつとり”の実現に向けて、県民の皆さんと一緒に、活動を街・県内に展開していきます



●毎日来ても楽しい、何かと出会える美術館

- » 1階から3階まで、無料で自由に入れる場所が広がります
- » 年間1,000以上の多彩なプログラムを実施し、ひとりでも家族連れでも、子供からお年寄りまで、毎日アートを楽しめます
- » 各所に居心地の良い様々なスペースがあり、“お気に入りの場所” “サードプレイス”としても利用できます



»『ひろま』や『えんがわ』を、ユニークベニューとして活用できます
様々な使い方を皆様とともに工夫し、身近で、親しみやすく、
愛着を持って参加できる美術館を育てていきます



●「鳥取県立美術館らしさ」を創り、「鳥取の魅力」と共に、広く発信します

- » 県の学芸員の方々と協力しながら、県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなでつくる美術館を両立します
- » 学芸員と教育普及担当を配置し、子供からお年寄りまで楽しく学べるワークショッププログラムをつくり、美術ラーニングセンターをより魅力的にします



» 鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーを様々な展覧会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます
» 独自のインターネットミュージアムと連携し、発信力を高めます
» 美術館だけでなく、他の施設、観光、まちづくりの方とも連携して、鳥取の魅力を形作り、発信していきます



●県民の“あつたらいいな”でつくるアートな日常

- » レストランは“アートコミュニティダイニング”として、意欲のあるシェフや経営者を募集し、皆さんのチャレンジを後押しします
- » 食材や器に県産品を活用し、コンテスト等で県民参加の機会をつくります
- » ショップでは県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携しながらオリジナルグッズも開発します
- » レストランでも様々なイベントを開催します



新たなアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ

●県民が主役となる美術館を創ります

- » 県民が運営や創作活動など、気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、皆さんのが担い手となる美術館をつくります
- » 3年に一度、トットリエンナーレを開催して、美術館から街へとアートを拡げていき、たくさんの人々を呼び込みます

